学校番号	T3036

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新編現代の国語　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中にノートやプリントを活用することで「聞く能力」「書く能力」を向上させましょう。
・さまざまな文章に親しむことで「読む能力」を向上させるとともに、テーマに応じてお互いの意見や気付きを発表することで「話す能力」を身につけましょう。
・毎時間積極的に授業に取り組むとともに、提出物の期限を守りましょう。定期考査は日常の学習のまとめと捉え臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	作品の主題について考える ［教材］ 「ナマケモノになる」	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b[読]：要旨を把握することができている。 c：積極的に筆者の意見を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	筆者が主張を述べるためにどのように論を進めているか理解する ［教材］ 「言語としてのピクトグラム」	a：言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解している。 b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉えることができている。 c：積極的に論理の展開について読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	自分の体験についてわかりやすく述べる ［教材］ 「十六歳のとき」	a：常用漢字を文章の中で活用している。 b[書]：自分の体験が的確に伝わるように表現を工夫している。 c：積極的に自分の思いや考えを伝えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	プレゼンテーションの方法について学ぶ ［教材］ 「理想の修学旅行をプレゼンする」	a：引用のしかたや出典の示し方について理解している。 b[話／聞]：情報をわかりやすく説明する方法を理解している。 c：積極的に自分の意見を伝えようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 発表
後期	作品に含まれる情報の関係性を正しく把握する方法を学ぶ ［教材］ 「『弱いロボット』の誕生」	a：例示などの修辞を理解している。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈することができている。 c：積極的に文章に含まれる情報を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	論理的に文章を書く方法について学ぶ ［教材］ 「書き方の基礎レッスン」	a：文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。 b[書]：自分の考えが的確に伝わるように文章の構成や展開を工夫している。 c：積極的に学んだことを生かして文章を書こうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	場に応じた話し方について学ぶ ［教材］ 「話し方の工夫」	a：話し言葉と書き言葉の特徴や表現の特色について理解する。 b[話／聞]：目的や場に応じた話し方について理解する。 c：自分の思いが伝わるようにあらゆる工夫をしようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 発表
	対比について学ぶ ［教材］ 「『間』の感覚」	a：主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解している。 b[書]：事柄が的確に伝わるように表現のしかたを工夫している。 c：積極的に対比表現を用いようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間